

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	34	受 理 年 月 日	令 和 6 年 2 月 29 日
件 名	学校の特別教室や体育館へのエアコン設置及びトイレの洋式化の推進		
要 旨	<p>気候変動の影響が社会生活の至る所に現れだしている。温暖化によって夏には35度を超えることがもはや珍しくない。学校においても、熱中症対策は、子供たちの命と健康を守るという観点から重要視されなければならない問題である。</p> <p>京都市の小中学校特別教室のエアコン設置率は80パーセントとなっており、5分の1はいまだに設置がなされていない。体育館については設置率2パーセントとなっており、ほとんどが未設置状況である。学校教育の中では体育館を使用する機会も多く、また中学校では部活動でも毎日使用するため、通常教室と同様のエアコン設置が必須である。</p> <p>元日に起こった令和6年能登半島地震では、被災者の多くが真冬の寒さの中、学校の体育館に避難せざるを得なかった。しかし、体育館にはエアコンが設置されておらず、暖を取ることが難しかったという実態があった。このことが、被災者の健康被害のリスクを増大させているという指摘がある。京都市においても、学校体育館は避難所として想定されている。避難所での二次被害を引き起こさないためにも、設置は必要である。</p> <p>この間、京都府下でも、八幡市や京田辺市では体育館へのエアコン設置が進んでいる。京都市でも、是非全ての特別教室と体育館へのエアコン設置を一斉に進めてほしい。</p> <p>京都市における学校トイレの老朽化も問題である。学校トイレは子供たちの重要な生活空間の一部である。しかし、校舎の老朽化に伴って、下水が逆流するなどの事態になっている学校もある。学校トイレの洋式化も69パーセントの学校では整備されているが、全てのトイレを洋式化するには至っていない。</p> <p>不登校児童生徒数が急増する中、子供たちにとって環境面からも過ごしやすい学校を作ることが求められている。学校のトイレの整備は生活空間の改善につながり、これに寄与するものである。学校トイレ全ての洋式化を求める。</p> <p>ついては、学校の特別教室や体育館へのエアコン設置とトイレの洋式化を進めることを願う</p> <p>なお、本請願について署名1,000筆を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	山本 陽子、えもとかよこ、やまね智史		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		